

G3 のツイッター その 38

烈剛河内 竹井 保満

たった一つしかない地球の彼方や此方で、きな臭い出来事が続きます。何とかオリンピックが平和なうちに行われることを願望しておりますが、今年も早いもので、もう6月に入り、嫌な梅雨に入ります。よく雨の降る六月が水無月とは可笑しいので、語源辞典を引きましたら、昔は「水の月」と言い田圃に水を引き見渡す限り水になった事によるのだそうです。

鬱陶しいですが、夏の日照りで水不足だと騒ぐのを考えると必要な恵みの雨でしょう。

この時期、滅入るような話で恐縮ですが、友達と月に一回、大阪に集まりビールを一杯飲み、昔話や近況を語り合いたいが、車いすの生活に成ったり、眼が悪くなったり、また、先日、認知症で電話でも話ができなくなったとの事、動けるのは終に私ひとりになりました。

有難いことに私はジムでのトレーニングに週3回通っています。ジムは当然のことながら元気な人ばかりなので、暗い雰囲気も一気に霧散し、気力も体力も何とか保持出来ています。インターバルの間に聞く、若い人の話も面白く有難いし、年寄りのウィークポイントや愚痴も、自慢話として聞いてくれるのも有難いことです。

同郷に、平櫛田中という有名な彫刻家が居られましたが、六十・七十は鼻たれ小僧、人生は百歳からと、百歳になっても鑿と槌をふるって名作を残されました。残念ながら百八歳で亡くなられましたが、亡くなられた後にまだ百年分の原木が残されていたから凄い生き様だと感銘します。

私も、巷に流れる情報を選択、勉強しながら、梅雨で陰鬱な雰囲気を打ち払い、色々と打ち寄せてくる老害と戦います。関西で行われるワールドマスターズには五万人の選手が世界から集まるそうです。

メダルを目指してあと4年トレーニングを続けます。

独立独行。